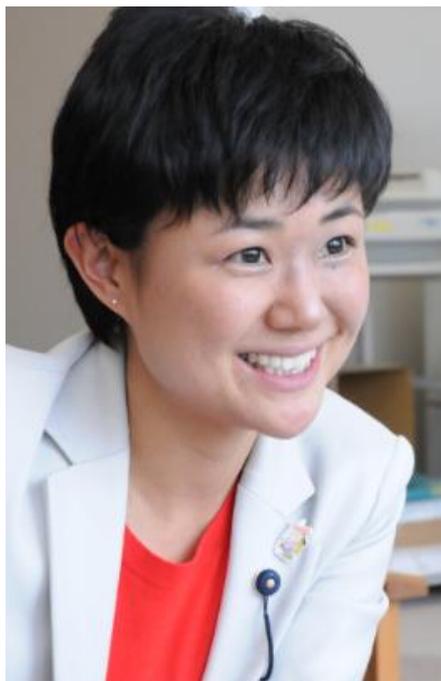


県議会議員

いおくニュース



■プロフィール■

猪奥美里 (いおく みさと)

1980年奈良市秋篠町生まれ

34歳・O型・うお座

平城小学校・平城中学校・

ドイツギムナジウムジーク留学

奈良大学附属高等学校・

立命館大学・立命館大学大学院
(環境経済学専攻)

2007年衆議院議員秘書

2011年奈良県議会議員初当選

県議会最年少・民主党所属

◆所属委員会◆

文教くらし委員会

エネルギー政策推進特別委員会
(委員長)

■県立高校にエアコン設置を

過ぎしやすい季節となりました。今夏の気温のピークは7月。地球温暖化により全体的な気温は上昇し続けています。学校の教室温度も、30度を超える日が何日もあるようになりました。しかし県や行政は学校にクーラーの設置は行っては

いません。これは当たり前なのではなく、近畿の公立高校でクーラー未設置なのは奈良県のみです。民主党は一貫し、県立高校のクーラー設置を求めてきました。私が所属をする文教くらし委員会で、今回もエアコンの設置について議論を交わしました。

■PTAによるエアコンの設置

今、33校ある県立高校の内、14校にクーラーが設置されていますが、県が設置したのではなく、当該学校のPTAにより設置されたものです。エアコンの購入、設置、維持管理、このすべてがPTAつまり、親ごさんの負担で設置されています。

■なぜ設置できないのか？

県の主張は2点です。1) 先ずは耐震化を100%実施したい。2) クーラーそのものが、生徒の発育に悪影響を及ぼすことも考えられる。当初は、耐震化が必須で、クーラーなどとも議論すべき事項ではないという雰囲気でしたが、議論を積み重ねる内に、先ず耐震化を行い、その後でと少しずつ対応が変わってきたように感じます。一方最近の答弁、および委員会での他の議員から発言が増えているのが2)の議論です。「日本には美しい四季があり…」や「我慢する心…」その背景には、精神論が見え隠れしてなりません。

■いったい室内の温度は？

8月の文教くらし委員会を受け県はようやく教室温の調

査を始め、8月25日～9月5日までの間、県内3校で計測を行いました。奈良市での結果は、29日以外の8月は毎日30度を超え、最高で32度を記録しました。我慢する心を養うことは大切ですし、日本には美しい四季もあります。しかし、気温がピークを迎えた7月はまだ夏季休暇前、32度を超える室温の中では十分な学習環境が提供できているとは言えません。

■中退率、10倍?!

私たちは、PTAによるクーラー設置校と未設置校の中退率を比較しました。設置校は0.32%と全国平均より低い数値です。一方、未設置校では4.11%。実に設置校の10倍以上の中退率。ただクーラーを設置すれば、中退率が改善すると言いたいものではありません。PTAでクーラーを設置しようという学校は、いわゆる進学校で、親が学習に熱心であることが想定されます。子どもの学力は様々な成長の段階で積み上げられてきた子育ての総和です。親ごさんの想いももちろん重要ですが、子どもは社会が育てるというチルドレンファーストという理念に立ち、親の財布の重さによって子どもたちの育つ環境に違いがあってはならないと考えます。ここは公がしっかりと、子どもたちの環境を同じように整えるべき。そのためにも、県立高校へのエアコン設置をこれからも求めて参ります。